

ヤーマツシユを約48kmほど設置、鳥獣被害の約8割を占めているイノシシは、猟友会（11地区の駆除班）が中心になって5,881頭を捕獲しているが、90%以上が箱わなでの捕獲であった。

嘱託職員の藤川氏からは、イノシシの生態や同氏の独自の捕獲技術のお話があり、新たな知識を得ることができたので、今後の対策の参考にしていきたい。

2日目、みのりの丘ジビエセンターでは、施設建設までの経緯やジビエ肉の需要と供給等について説明を受け、当日、イノシシの解体現場を視察したが、市場で求められているのは、シカ肉がメインとのことであった。



捕獲技術等を説明する藤川氏



みのりの丘ジビエセンター



唐津市役所

5月24日 東京都神津島村議会行政視察 来町対応（荒川）  
5月25日 例月現金出納検査・定期監査（尾元）



津久見市役所



応急復旧された護岸（津久見市彦ノ内川）

5月28日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都：荒川、小田）  
5月29日 例月現金出納検査（尾元）  
6月1日 防災対策特別委員会行政視察

2日（大分県・福岡県：藤本、吉村、砂田、松井、尾元、中本、久保）  
津久見市は大分県の南東部に位置し、豊後水道に面した海岸沿いの市である。

平野部は少なく三方を山に囲まれているが、半島部の美しいリアス式海岸や島しょ部は、風光明媚な景観を構成している。また、広大な石灰岩地帯の採掘場は、独特な景観を有している。市役所では、昨年9月17日に襲来した台風18号について、市民への対応や当日の状況、また、人家や公共施設の被害と復旧計画、そして被災者に対する様々な支援について説明を受けた。2日目は、昨年7月の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた、大分県日田市および福岡県朝倉市へ向かった。